

授業科目名	英語科目名
リーン・スタートアップのビジネスモデル研究	Lean Startup
科目概要	
科目では、リーン・スタートアップの体得にフォーカスし、理論とプラクティス分析に基づく実践型の講義を展開するとともに、体感的な演習を行います。Web ビジネス、コンサルティングビジネス、新領域ビジネス、ソーシャルビジネス、コミュニティビジネスなど、様々な事業ドメインへの応用が可能です。科目受講後には、体感的に各自の独立・起業をイメージできる状態になることを目指します。	

担当教員名	配当年次	経営管理コース		グローバル化コース		アントレプレナーコース				単位
		～UF17	US18～	US16 US17	US18～	US16	US17	US18～	UF20～	
谷中 修吾	1年次	選択	選択	選択	選択	選必	選択	選択	選択	1

スケジュール	
開講日	2020年10月23日(金)
受講認証期間	開講日～2020年12月20日(日)23:59
ディスカッション期間	開講日～2020年12月20日(日)23:59
中間アウトプット提出期日	2020年11月18日(水)10:00[提出]
最終アウトプット提出期日	2020年12月21日(月)10:00[提出]
成績発表	最終試験提出から、2か月後を予定

	必須	推奨
事前学習科目	—	—
事後学習科目	—	—

学びの目的と目標
<p>&lt;科目の背景&gt;</p> <p>ビジネス環境の変化とともに、起業というキャリアが多くのビジネスパーソンに開かれた時代となりつつあります。一方、スタートアップの可能性が広がる時代環境の中においても、安全・着実・効率的に起業を実現することは必要不可欠です。そこで、無駄のない起業プロセスとしてのリーン・スタートアップの実践手法は、起業を目指すビジネスパーソンにとって強力な武器となります。</p> <p>&lt;本講座の概要と、主な学習要素&gt;</p> <p>本科目では、リーン・スタートアップの体得にフォーカスし、理論とケースに基づく実践型の講義を展開します。現場で活かされる知識・スキルの習得を重視することから、個人ワークによる体感的な演習を行うことが特徴的です。また、リーン・スタートアップを実践する注目の経営者たちのケースを用いて、WEB ビジネス、プロフェッショナルサービス、ソーシャルビジネス、コミュニティビジネス、社内新規事業など、様々な事業タイプに応じたリーン・スタートアップの実践手法を学びます。</p>

<学びの目的(修了後に修得すべき素養、能力等)>

科目受講後には、体感的に各自の独立・起業をイメージできる状態になることを目指します。

- ・リーン・スタートアップの基本的な概念を理解する。
- ・様々な事業タイプに応じたリーン・スタートアップの実践手法を理解する。
- ・リーン・スタートアップの手法を自身のビジネスで応用、実践できる能力を習得する。

**【注意事項】**

・本科目は、履修者上限25名とし、アントレプレナーコース希望者、単科生優先、その他は先着順となります旨、ご了承ください。結果は10/16に履修登録者にご連絡いたします。

評価の観点	評価割合	評価方法
平常点	25%	受講完了等を参考に、総合的に評価する
講義に関する発言・質問・議論	25%	投稿された発言内容から、講義の理解度、課題に取り組む姿勢、およびクラスの議論への貢献度を総合的に評価する。 ※ディスカッションの参加者ひとり一人が発言の質を高め、リーダーシップを磨き、集団知形成に貢献するよう心掛けてください。 (下記リンクより、AirCampus での発言・議論で求められる姿勢を確認してください。) <a href="http://bbtmba.aircamp.us/guide/mind/">http://bbtmba.aircamp.us/guide/mind/</a>
中間アウトプット	25%	中間アウトプットの提出状況、および、その内容を総合的に評価する。
最終アウトプット	25%	最終アウトプットの提出状況、および、その内容を総合的に評価する。
最低受講要件	—	なし

卒業研究等履修条件に係る最低受講要件 (※2017年秋期以前の入学者のみ対象)

最低受講要件	—
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 最低受講要件を満たした上で最終試験を提出し、総合成績で F(不合格)となった場合は、「卒業研究」「卒業実習」「卒業実習1・2」「ビジネスプラン演習」の履修要件を算定するスコアは「0点」となります。最低受講要件を満たさず最終試験を提出し、総合成績で F(不合格)となった場合、もしくは最低受講要件に関わらず最終試験未提出の場合は、「-1点」となります。</li> <li>・ 「卒業研究」「卒業実習」「卒業実習1・2」「ビジネスプラン演習」履修要件については下記のリンクを参照して下さい。 <a href="http://bit.ly/1S40WJQ">http://bit.ly/1S40WJQ</a></li> </ul>

※2018年春期以降の入学者は受講ハンドブックに記載の通り、総合成績が F(不合格)の場合、「卒業研究」「卒業実習」「卒業実習1・2」「ビジネスプラン演習」の履修要件の算定するスコアは「-1点」となります。

※「卒業研究」「卒業実習」「卒業実習1・2」「ビジネスプラン演習」履修要件については下記のリンクを参照して下さい。  
<http://bit.ly/1S40WJQ>

教科書	<p>『リーン・スタートアップ ムダのない起業プロセスでイノベーションを生み出す』          エリック・リース(著)[日経BP社]  <a href="https://amazon.co.jp/dp/4822248976">https://amazon.co.jp/dp/4822248976</a></p> <p>『最強の縄文型ビジネス イノベーションを生み出す4つの原則』          谷中修吾(著)[日本経済新聞出版社]  <a href="https://amazon.co.jp/dp/453232288X">https://amazon.co.jp/dp/453232288X</a></p>
参考図書	<p>『Lean Analytics スタートアップのためのデータ解析と活用法』          アリステア・クロール(著), ベンジャミン・ヨスコビッツ(著)[オライリージャパン]  <a href="https://amazon.co.jp/dp/4873117119">https://amazon.co.jp/dp/4873117119</a></p> <p>『Running Lean 実践リーンスタートアップ』          アッシュ・マウリヤ(著)[オライリージャパン]  <a href="https://amazon.co.jp/dp/4873115914">https://amazon.co.jp/dp/4873115914</a></p> <p>『リーン顧客開発 ―「売れないリスク」を極小化する技術』          シンディ・アルバレス(著)[オライリージャパン]  <a href="https://amazon.co.jp/dp/4873117216">https://amazon.co.jp/dp/4873117216</a></p>

教員紹介	
◇担当教授:	<p><u>谷中 修吾(やなか・しゅうご) 教授</u>            ビジネス・ブレイクスルー大学 経営学部 グローバル経営学科 学科長 専任教授            ビジネスプロデューサー／クリエイティブディレクター。専門は、スタートアップ、マーケティング、ソーシャルビジネス。慶應義塾大学総合政策学部卒業、慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科修士課程修了、東京大学大学院工学系研究科修士課程修了。クリエイティブディレクターとして数々のグローバルブランドのメディアデザインに従事した後、スタンフォード大学 NGO で人材育成事業の運営を経て、公益財団法人松下政経塾卒業。NPO で経済産業省キャリア教育プロジェクトのモデル事業化を実現した後、外資・戦略コンサルティングファーム Booz Allen Hamilton にて政府機関・民間企業の戦略立案・実行支援を経て、イノベーションデザインファーム Velvet &amp; Company 株式会社を設立。グローバルカンパニー、成長企業、プロフェッショナルファームなどに多数のクライアントを持ち、新規事業の立ち上げからマーケティング施策の展開まで総指揮を執る。国際協力や地方創生におけるソーシャルビジネスの立ち上げに実績多数。震災後、スターボックス、キャンン、松下政経塾の協力を得て、復興支援プロジェクト「道のカフェ」を立ち上げ、総合プロデューサーとして企画・運営に従事。2015 年、地方創生まちづくり EXPO「まちてん」(実行委員長／総合プロデューサー)、2016 年に地方創生イノベーターカンファレンス「INSPIRE」(代表理事、総合プロデューサー)をローンチ。BBT 大学オープンカレッジ：地方創生スタートアップトレーニング「BBT-R」コース長。TED キュレーターなど、ビジネス系カンファレンスのナビゲーターや MC を多数務める。</p> <p>◇ティーチングアシスタント(TA):  <u>深澤 昌生(ふかさわ まさお)TA</u>            東京都渋谷区出身</p>

2011年3月 ビジネス・ブレイクスルー大学大学院 経営学研究科 経営管理専攻修了。

(株)リクルート エグゼクティブプロデューサー

慶應義塾大学 グローバルリサーチインスティテュート(KGRI)所員

社会人のスタートは製造業のエンジニア。プロダクションエンジニアリングとしてタイ国に勤務。

その後、現職の営業を4年経験し、コンサルタントとして顧客企業の人と組織に関する課題解決に取り組む。

現在はオリンピック・パラリンピック準備室にて、東京2020組織委員会の業務支援ならびに、経済界協議会活動推進や、事業開発室にて新規事業の企画立案、業務設計、導入・運用・実行などへ関わる。

	学習内容	学習課題
1	<p>理論編</p> <p><b>リーン・スタートアップ概論</b></p> <p>本科目のオリエンテーションとともにリーン・スタートアップの基礎的なフレームワークを学ぶ。構築・計測・学習からなるリーン・スタートアップのプロセスを理解した上で、科目を通じて取り組むミッション(課題)について確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「リーン・スタートアップ概論」に関する気づきをまとめ、AirCampus にアップする</li> <li>・ ミッションに対して提案する事業案についてイメージを広げる(提出不要)</li> </ul>
2	<p>理論編</p> <p><b>構築 ～Build～</b></p> <p>構築プロセスの全体像を学び、事業案を「実用最小限の製品(MVP)」に落とし込んでアーリーアダプターからのフィードバックを得るという考え方や手法を理解する。また、具体的にフライヤー型 MVP の事例研究を通じて、実際に MVP を作成する技術を習得する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「構築 ～ Build～」に関する気づきをまとめ、AirCampus にアップする</li> <li>・ 中間アウトプットとなるフライヤー型 MVP の構想を練る(提出不要)</li> </ul>
3	<p>理論編</p> <p><b>計測 ～Measure～</b></p> <p>計測プロセスの全体像を学び、「実用最小限の製品(MVP)」に対するアーリーアダプターからのフィードバックを情報収集・分析するための考え方や手法を理解する。実践的な具体例として、フライヤー型 MVP に対するフィードバックの情報収集・分析について考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「計測 ～ Measure～」に関する気づきをまとめ、AirCampus にアップする</li> <li>・ 中間アウトプットとなるフライヤー型 MVP の構想を練る(提出不要)</li> </ul>
4	<p>理論編</p> <p><b>学習 ～Learn～</b></p> <p>学習プロセスの全体像を学び、アーリーアダプターから得られた「実用最小限の製品(MVP)」に対するフィードバックを踏まえて、事業仮説を検証・修正する考え方や手法を理解する。とりわけ、ピボット(方向転換)に関する考え方への理解を深める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「学習 ～ Learn～」に関する気づきをまとめ、AirCampus にアップする</li> <li>・ 中間アウトプットとなるフライヤー型 MVP の構想を練る(提出不要)</li> </ul>
5	<p>理論編</p> <p><b>デザイン思考</b></p> <p>リーン・スタートアップと親和性の高いデザイン思考について学ぶ。共感→問題定義→アイデア創出→プロトタイピング→検証という5つのプロセスを理解し、リーン・スタートアップの考え方を補完する。デザイン思考の最先端を切り拓くスタンフォード大学の最新動向を踏まえた英語によるゲストレクチャー。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「デザイン思考」に関する気づきをまとめ、AirCampus にアップする</li> <li>・ 中間アウトプットとなるフライヤー型 MVP の構想を練る(提出不要)</li> </ul>
6	<p>理論編</p> <p><b>プロトタイピング</b></p> <p>リーン・スタートアップの実践に向けて具体的な手順を学ぶ。新規ビジネスの仮説を整理する手法としての STP・4P 等のフレームワークをレビューし、迅速に明文化するドキュメンテーションの手法を学び、「実用最小限の製品(MVP)」へと展開するプロトタイピングを理解する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「プロトタイピング」に関する気づきをまとめ、AirCampus にアップする</li> <li>・ 中間アウトプットとなるフライヤー型 MVP を作成する(期限内に提出)</li> </ul>
7	<p>ケース編</p> <p><b>WEBビジネス</b></p> <p>インバウンド観光者を対象とした現地体験のトラベルサービス事業を展開して楽天株式会社への株式売却(過半数)を実現した、株式会社 Voyagin 代表取締役の高橋理志氏の実践事例から、WEBビジネスのリーン・スタートアップを学ぶ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「WEBビジネス」に関する気づきをまとめ、AirCampus にアップする</li> <li>・ 最終アウトプットに向けて実践を進める(提出不要)</li> </ul>

8	<p>ケース編</p> <p><b>プロフェッショナルサービス</b></p> <p>ビジネスリーダーの人材紹介事業を展開して日本ヘッドハンター大賞 MVP を受賞した株式会社コンコードエグゼクティブグループ 代表取締役社長 CEO の渡辺秀和氏の実践事例から、プロフェッショナルサービスのリーン・スタートアップを学ぶ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「プロフェッショナルサービス」に関する気づきをまとめ、AirCampus にアップする</li> <li>最終アウトプットに向けて実践を進める(提出不要)</li> </ul>
9	<p>ケース編</p> <p><b>ソーシャルビジネス</b></p> <p>オリジナルの国産薬草茶[table]の企画・販売を通じて、日本の薬草や暮らしの知恵とともにローカルの魅力を伝えるTABEL株式会社 代表取締役の新田理恵氏の実践事例から、ソーシャルビジネスのリーン・スタートアップを学ぶ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ソーシャルビジネス」に関する気づきをまとめ、AirCampus にアップする</li> <li>最終アウトプットに向けて実践を進める(提出不要)</li> </ul>
10	<p>ケース編</p> <p><b>コミュニティビジネス</b></p> <p>消滅の危機にある日本全国の古民家を村に見立てて、多くの人々で1つの家を支える「シェア・ビレッジ」村長(株式会社 kedama 代表取締役)の武田昌大氏の実践事例から、コミュニティビジネスのリーン・スタートアップを学ぶ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「コミュニティビジネス」に関する気づきをまとめ、AirCampus にアップする</li> <li>最終アウトプットに向けて実践を進める(提出不要)</li> </ul>
11	<p>ケース編</p> <p><b>社内新規事業</b></p> <p>採用計画の立案および実行をトータルに支援するサービス「RPO (Recruitment Process Optimization)」を新規事業として立ち上げた株式会社リクルートキャリアの深澤昌生氏の実践事例から、社内新規事業のリーン・スタートアップを学ぶ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「社内新規事業」に関する気づきをまとめ、AirCampus にアップする</li> <li>最終アウトプットに向けて実践を進める(提出不要)</li> </ul>
12	<p>まとめ</p> <p><b>総括</b></p> <p>理論編およびケース編における学びをレビューし、一連のリーン・スタートアップに関する理解を再確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「総括」に関する気づきをまとめ、AirCampus にアップする</li> <li>最終アウトプットに向けて実践を進める(期限内に提出)</li> </ul>

※学習課題の内容等は変更になる可能性がありますので、予めご了承ください。

コース詳細	
講義の受講、受講 認証	<p>講義の受講、受講認証 各講義は配信日の 13:00 より視聴可能となります。</p> <p>1) 本科目の講義は、「講義映像」フォーラムにて受講できます。</p> <p>2) 受講中の受講認証が必要です。</p> <p>受講認証がされていない場合は受講完了になりませんのでご注意ください。</p> <p>「完了」ステータスにならない場合は、ページを更新してください。</p> <p>受講認証をして受講を完了することは、各自の進捗管理および成績評価の対象として必須となります。</p> <p>■受講認証期間： 開講日～2020年12月20日(日)23:59(最終試験提出日前日の日付変更時まで)</p>
AirCampus にお ける各講義に関 する発言・質問 ・議論	<p>■ディスカッションの留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本科目では、講義回ごとに以下のフォーラムに分けてディスカッションを行います。</li> </ul> <p>#1～#6</p> <p>#7～#12</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>フォーラムでは、各回の講義に関するテーマや内容について発言を行ってください。講義の中で扱われているテーマであればトピックは自由です。発言をする時は、何のテーマについて発言をしているのか明確になるように心掛けて下さい。例えば、第何講の何のテーマについて発言するのかをタイトルに含める等(例：#1 経営者の役割)</li> </ul>

	<p>■ディスカッション期間： 開講日～2020年12月20日(日)23:59(最終試験出題日前日の日付変更時まで)</p>
中間アウトプット 最終アウトプット	<p>中間・最終アウトプットで出題される課題は、同一課題となります。 開講後、第1回「リーン・スタートアップ概論」の講義内、【ミッション】として出題されますので、内容を必ず確認してください。</p> <p>中間・最終アウトプットの提出要領は、「課題提出用」フォーラムにて発表されます。 それぞれ「中間アウトプット」「最終アウトプット」の項目が表示されますので、提出要領を確認してください。</p> <p>■中間アウトプット提出期日：～2020年11月18日(水)10:00[提出] ■最終アウトプット提出期日：～2020年12月21日(月)10:00[提出]</p> <p>※提出期日は厳守してください。如何なる理由でも、遅延提出は認めません。 ※試験やレポートに関して、テキストなどの書き写しや受講生間での解答の連絡や相談は禁止します。</p>
フィードバック	<p>中間・最終アウトプットの提出後に、フィードバックを実施する予定です。 フィードバックの詳細は、開講後 AirCampus のフォーラムにてご案内します。</p>

備考

シラバスの内容等は変更になる可能性がありますので、予めご了承ください。